



令和2年度西条市版SIB プロジェクト実績報告

令和3年3月24日

ためき本舗 株式会社

実現したい将来の地域の姿

◆現状

多様化する食文化、グローバル化による生活の多様化 → 大きい変化
高齢化と後継者不足 → 消えゆく和菓子店、失われていく故郷の味

◆元気西条！の発信（市民参加型のCMづくり）

多くの市民の参加と協力、世代を超えた取り組み
企業利益に止まらず、元気な西条を発信！

◆市民参加によるCMソング復活

CMソング復活プロジェクトは、挑戦する起業人に刺激を与え、事業承継の重要性を確認し、地域間競争に打ち勝つ町づくり。

SDGs との関連性



目標 1 1

包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する。

目標 1 2

持続可能な生産消費形態を確保する。



SDGsとの関連について

●ターゲット1 1「住み続けられるまちづくりを」

90年の歴史を持つ「たぬきまんじゅう」の存在は地域にとって「当たり前」となっていたが、この度の事業を通じて地域の「当たり前」を見つめ直し、行動・努力することで次世代にも引き継いでいくことが出来ることに気付いた。それは、次世代へと引き継ぐ文化遺産や自然遺産を守り、保護・保全にも通じるものと確信した。

●ターゲット1 2「つくる責任つかう責任」

後継者問題から一度幕を閉じた「たぬきまんじゅう」であったが、事業承継により復活し、今回の事業を通じて発信したことにより、たぬきまんじゅうとそのCMソングが地域の財産であることを再認識することが出来た。

コロナ禍であるにもかかわらず、多くの人々に応援や協力をいただき、販路拡大が図られたこと、また異業種からの連携等の話が進むなど今後の雇用拡大の可能性も高まっている。

実施背景と今日の地域の現状

■ 新型コロナウイルス感染拡大による経済の停滞

大会・会議・式典・祭礼等の中止

学校の休校・観光地の閉鎖・冠婚葬祭への影響

■ 地域（西条市）の現状は、予断を許さない状況である

四国有数の「ものづくりの町」・革新的農業に取り組む町

合宿都市構想にも多大な影響（宿泊・飲食・交通）

■ 終息の見通しが立たない

社会生活のすべてにおいて消極的になり、守りの姿勢となっている

人の往来が制限され、消費行動が縮小傾向にある

プロジェクトの目的・内容

■ 目的

たぬきまんじゅうの復活→たぬきまんじゅうCMソングの復活

市民はもとより、西条市への移住者やCMソングを知らない若い世代にも参加を促し、元気を発信することにより、経済活動に寄与

■ 実施内容

- ① たぬきまんじゅうのCMソングの復活 ⇒ 高校吹奏楽部、コーラス部
社会人バンド、ダンススクール、ピアノ教室、保育園児などによる
演奏やダンスの動画の撮影 ⇒ YouTube配信とラジオCM放送
- ② 新規取引先の拡大 ⇒ プロジェクトスタートから24店舗増加
- ③ 情報誌「ここまち11月号」「ホージャ12月号」に掲載







スケジュール

- 7月中旬 関係者、関係団体との打ち合わせ
- 7月下旬 ガンバタン・ジャグ・クインテッドに決定
- 8月上旬 クラウドファンディング募集開始
- 8月下旬 演奏等参加団体募集開始 高校等巡回
- 10月下旬 情報誌ここまちに掲載
- 10月21日 テレビ愛媛放映
- 11月26日 ユーチューブ配信開始
- 12月26日 情報誌ホージャに掲載
- 1月12日 ラジオCM放送開始 FM愛媛



収支決算報告

収入の部

項目	金額
SIB事業支援金（出資金）	500,000円
自己資金	86,680円
合計	586,680円

支出の部

項目	金額
出演料（謝金・謝礼）	78,000円
貸借料	0円
製作費（撮影・製作費）	305,000円
印刷費（情報誌掲載）	192,500円
交通費	0円
消耗品費（送料等）	11,100円
合計	586,680円



プロジェクト実施による成果目標の達成状況

- ① たぬきまんじゅうにまつわる地域の人々の想いの結集：
懐かしのCMソングを市民参加型で制作（復活）し、YOUTUBE配信とラジオCM放送を開始する
市民170名10団体による参加を得てCMソングの復活、YOUTUBE配信とFM愛媛にてCMソング放送開始
- ② 地域の銘菓・たぬきまんじゅうの継承：
愛媛県南予地域を中心とした販路拡大（契約店舗数10店舗）
県内24店舗、県外2代理店の取引先の拡大が図られた
- ③ たぬきまんじゅうの背景・「喜左衛門狸伝説」の民話伝承：
地域メディアと連携した、喜左衛門狸伝説の民話伝承を伝えるための取組みの実施（1媒体）
地元情報誌にたぬき伝説とSIBプロジェクトの告知を掲載

出資特典 たぬきまんじゅう詰め合わせセット

生み出した効果

西条市版SIBへの取り組みが話題となり、販路拡大面においても目標を大きく上回る実績を残すことができた。本事業への取り組みがラジオやテレビの取材を受け、放映されることにより大きいCM効果があったと思われる。本事業を通じての企業信用度の上昇は、目を見張るものがあり、新規事業への展開に発展する可能性が増した。

活動予定（プロジェクト終了後から3～5年以内）

コロナウイルス感染の状況を見ながら、たぬきまんじゅうのCMソングをユーチューブやSNS等ラジオCMによる発信を継続するとともにテレビCMも検討したい

来年発売から90年を迎えることから、着ぐるみを作成し、各地のイベント参加を始め精力的に販路拡大に努めたい

たぬき伝説を街づくり、町おこしに掲げる全国の地域、自治体に呼びかけ、「たぬき伝説サミット」を企画したいと考えている

